

2020年2月5日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 CEO 濱田 矩男
(コード番号 8129 東証第一部)
問合せ先 取締役 広報・IR 室長 河村 真
(電話 03-6838-2803)

順天堂大学との共同研究講座
「デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座」の開設について

東邦ホールディングス株式会社（本社：東京都、代表取締役会長 CEO：濱田 矩男、以下「東邦ホールディングス」）は、順天堂大学（学長：新井 一）、株式会社フィリップス・ジャパン（代表取締役社長：堤 浩幸）、旭化成株式会社（代表取締役社長：小堀 秀毅）、インターリハ株式会社（代表取締役社長：柏木 哲夫）と共同研究講座「デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座」を開設しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

<概 要>

「デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座」は、デジタルヘルスを利活用し、遠隔診療システムと遠隔リハビリテーションモニタリングシステムを開発することで、患者様自身のヘルスリテラシー向上による重症化予防促進や効率的な診療の提供を目的としております。同講座において、東邦ホールディングスは「病院・在宅医療及びリハビリ記録時の電子カルテ記載における音声入力システムの開発」および「音声認識を用いた会話分析による医療記録の自動文書化システムの開発」の研究に参画しております。

東邦ホールディングスでは 2004 年に初めて音声認識システムをコールセンターに導入して以降、様々なシステムやサービスに音声認識技術を活用してまいりました。現在、コールセンターでは 1 日約 5,000 回の対応内容を音声認識を用いて記録しています。また、全国の薬局で 11,000 台以上導入され、95%以上という高い音声認識率で薬歴作成をサポートする「ENIFvoice SP」や「ENIFvoice SP+A」、訪問看護師向け業務支援端末「エニフナース」、営業支援システムなどで自動音声認識技術を採用し、顧客サービスの向上につなげてまいりました。

当社は音声認識を用いた会話分析による医療記録の自動文書化システムの開発について順天堂大学と共同研究を進めることで、病院・在宅医療に関するカルテ記載時間を短縮し、医療従事者の負荷の減少に貢献することを目指してまいります。

※「デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座」の詳細につきましては、順天堂大学が本日付で発表したリリース文書をご参照ください。

<https://www.juntendo.ac.jp/news/20200204-04.html>

以 上